

## 自分や周囲の人、郷土を愛し、奉仕の精神をもつ児童生徒の育成

### 〈目的〉

小・中学校相互の積極的な連携により、児童生徒の自尊感情の高揚と地域の中での人のつながりに感謝できる心を育てたいと考えました。そのために、地域の特性を生かして教職員・児童生徒が交流したり、学び合ったりする機会をつくり、地域ぐるみで子どもにかかわる教育を推進していくことにしました。

ねがい

### 〈内容〉

#### ● 連携体制づくりのための小中合同現職教育

前年度までの連携を土台に、今年度は夏季休業中に小・中合同現職教育を開催しました。「学習力向上」「自尊感情育成」の2部会に分かれて、小・中学校の実態把握や相互の重点的な取組について交流を図り、育てたい児童生徒像と共通実践について確認しました。

#### ● 地域に根差した小中高合同「津田松原」ボランティアクリーン作戦

本年度は小・中・高等学校が一堂に会して津田松原の清掃活動に取り組みました。地域の有志や保護者の協力もいただき、年代を越えた交流を通して、思いやりや優しさを養い、人とのつながりを感じることができました。また、奉仕の心や社会貢献の自覚を深め、郷土愛を育むためにも効果的な取組となりました。



【クリーン作戦開会式の様子】

#### ● 小中合同地震津波対応防災訓練

大地震を想定し、小・中学校9学年が一斉に避難訓練を行いました。児童生徒の安全に対するかかわりや異学年間の周囲への気配り等も考える訓練となりました。さぬき警察署のご指導もいただき、児童生徒は地域の方から見守られて生活していることも実感しました。



【避難場所での防災指導の様子】

#### ● みんな笑顔であいさつ運動の日

児童会役員と生徒会役員が企画し、実施日を設定して、相互の正門と学校周辺2か所に分かれ、あいさつ運動を行いました。それぞれの場所でボランティア参加者も含め、地域の人にも積極的にあいさつしました。自ら進んで笑顔で（目と目を合わせて）あいさつすることを意識し、心のつながりや地域の人のかかわりを互いに実感できる体験活動となりました。また、活動する姿を教員やなかまが承認・称賛することで、自己存在感も高まりました。

### 〈成果〉

小・中学校の教員が、多様な機会を通じて児童生徒の実態や各校の取組を共有することで、自校での教育活動に生かす具体的な内容や改善点が明らかになりました。また、児童生徒は体験を通して、自己を多面的に見つめ、人のかかわりや生活の中で互いに高め合おうとする姿が多くなりました。さらに、異校種・異学年と活動する機会を増やしたことで、ふだんの学校生活でも周囲に気を配ったり、リーダー性を発揮したりする意識が高まりました。

高まり